

中部ろうさい病院 整形外科 専門センター 開設のお知らせ



当院整形外科では、専門性をさらに高め、
患者さんに最適な医療を提供するために
専門センターを開設しました。

令和8年1月から運用を開始します。



脊椎脊髄
センター



人工関節
センター



大腿骨近位部
骨折センター



病院長 丸井 伸行

当院整形外科では従来、脊椎疾患、関節疾患、外傷症例の診療に主に取り組んでまいりました。このたび地域の皆さんにより質の高い整形外科医療を提供するために、**専門性の高い領域を「脊椎脊髄センター」、「人工関節センター」、「大腿骨近位部骨折センター」の3つの専門センターに集約**し、令和8年1月より運用開始いたします。

最新の医療機器や専門的知見を活用し、多職種チームで疾患や生活背景に応じた診療から社会復帰支援までの提供に努めてまいります。**外来予約枠も一新し、従来の一般整形外科に加えて専門センターにも予約枠を設定して受け入れさせていただきます。**

今後とも地域の整形外科診療の拠点としての役割を果たしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



副院長・整形外科部長 伊藤 圭吾

整形外科診療のさらなる高度化と専門性の強化を目的に、各診療領域をセンターとして再編（脊椎脊髄センター・人工関節センター・大腿骨近位部骨折センター）し、外来診療から手術、リハビリ、社会復帰支援まで一貫した医療を提供する体制を整えました。

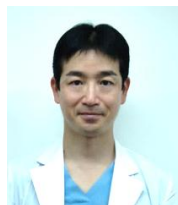


最新医療機器を活用し、疾患に応じた最適な治療の提案と、質の高い手術・リハビリを実現します。地域の皆さんにとって、**当院の理念である「納得、安心、そして未来へ」が実現される整形外科の拠点**となることを目指し、紹介患者の受入体制の充実、救急対応の強化、術後の早期回復支援に取り組んでまいります。

患者さん一人ひとりの生活機能の改善を第一に、より良い日常への復帰を全力でサポートいたします。

脊 椎 脊 髄 セ ン タ ー

セ ン タ ー 長
松 本 智 宏



副センター長
神 原 俊 輔



当センターが専門とする「脊椎脊髄外科」という診療カテゴリーは、国内外において整形外科と脳神経外科のそれぞれに脊椎診療グループがあります。対象疾患は脊椎全般であり基本的に同じと思われますが、日本では主に整形外科を中心に脊椎脊髄外科が発展してきたという歴史があります。名古屋大学グループは我が国の整形外科の脊椎脊髄外科ではメッカの一つで、**当院は約80ある名大関連病院の中でも代表的な脊椎専門施設の一つ**です。

当院整形外科は名古屋市中心部～南西部の脊椎外科中心施設としての役割を担い、**累積で約1万例以上の豊富な手術症例経験・ノウハウが蓄積されています。**

当センターには脊椎外科最高資格の一つである「日本脊椎脊髄病学会指導医資格」保持者が3名おり、**ほぼ全ての脊椎脊髄疾患に対応でき**、内視鏡手術を除く、**ほぼ全ての術式が行える数少ない脊椎専門施設**です。

地域の脊椎脊髄外科の『最後の砦』

在籍医師は、いずれも20年以上第一線の脊椎専門病院で研鑽を積んできた医師で、脊髄腫瘍・後縦靱帯骨化症・側弯症などの稀少疾患、難治疾患についての造詣も深いです。加齢変性進行による再手術例や高難度症例も多く、他の専門病院でも対応できない高難度症例の受け入れもできる “替えのきかない”位置づけで地域の脊椎診療に貢献しています。

また、いわゆる「手術」以外にも、**頸椎や腰椎の神経根ブロック・椎間板ブロックなど専門的な「ブロック療法」にも力を入れており、実施件数は地域でも有数です。**特に、頸椎のブロック療法は腰椎に比して高難度で実施できる病院も限られています。

当センターでは、整形外科の脊椎脊髄外科という優位性をさらに発展させることにより、地域の脊椎脊髄外科の「最後の砦」としての使命を担い、より多くの患者さんのお役に立てればと考えております。

これからも地域の先生方と御一緒に患者さんの健康に貢献できるよう質の高い診療を心がけていく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

人工関節センター

センター長
笠井 健広



副センター長
牧田 和也



当センターでは、変形性関節症や関節リウマチなどによる関節の痛みや機能障害に対し、人工関節置換術を中心とした専門的な治療を行っています。術前評価から手術、術後リハビリテーションまでを一貫したチーム医療体制で行い、安全性と機能回復を目指しています。

CTや各種画像検査を用いた精密な術前計画に基づき、患者さん一人ひとりの状態に合わせた治療方針の提案や低侵襲手術にも配慮し、術後の早期回復や日常生活への復帰を支援しています。

また、労災病院としての役割である就労世代の患者さんに対しては、職場復帰を見据えたリハビリテーションや社会復帰支援にも力を入れています。

先端テクノロジーのロボティックアームを用いた手術の導入

人工関節置換術において、**人工関節手術支援ロボット（MAKO Robotic-Arm Assisted Surgery System：日本ストライカー）**を導入し、術前の画像データに基づいた計画的な手術支援を行っています。本システムにより個々の骨形態やアライメントに合わせた精度の高いインプラント設置が可能になり、安全性と再現性の向上に取り組んでいます。

また、患者さんの身体への負担軽減を目指し、**人工股関節置換術においてはALS（Anterior Lateral Supine）アプローチなどの低侵襲手技を取り入れた手術を行っています**。筋肉の軟部組織への負担をできる限り抑えることで、術後の回復やリハビリテーションが円滑に進められるよう努めています。

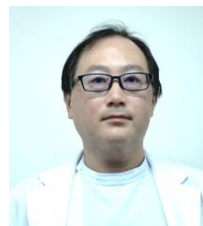
患者さんの状態や進行度に応じて、保存療法から手術療法まで適切な治療方針を提案しています。他にもいろいろな部位の関節痛、機能障害についても診察しておりますのでお気軽にご相談ください。

当センターでは、以下のような疾患に対して診療を行っています

変形性膝関節症	変形性股関節症
関節リウマチに伴う関節障害	特発性大腿骨頭壊死症
外傷後関節症	先天性及び発育性の股関節形成不全
人工関節術後の合併症や機能障害に関するご相談など	

大腿骨近位部骨折センター

センター長：木下 晋



高齢者が立った位置から転倒したり尻餅をついたりして、脚の付け根（股関節）が痛くなり歩けなくなる場合は、ほとんどが大腿骨近位部骨折です。本骨折は超高齢社会において増加の一途を辿っており、当院でも手術件数は年々増加しています。

本骨折に対し、当院では国家資格である骨粗鬆症マネージャーを中心として、医師、薬剤師、看護師、理学・作業療法士、栄養士、医療ソーシャルワーカー、医師事務といった**多職種でチーム（骨まもり隊）**を作り、以下の3つを柱として治療に当たっています。

- 可能な限り受傷から48時間以内の手術を行う
- 速やかな地域連携でリハビリテーションの継続を行う
- 骨折リエゾンサービス（FLS）による二次骨折予防を行う

具体的には**救急外来・手術室・病棟の連携のもと、緊急手術が行える体制を整え、術後はリハビリ病院とも連携を密にし、速やかに転院調整を行います。**

また、手術だけではなく、術後早期に骨粗鬆症の評価と薬物治療を開始し、薬物治療前には必ず歯科口腔外科で口腔内評価を行っています。

リハビリ病院転院後、もしくは自宅や施設への退院後も、当院専門外来を定期受診していただき、骨粗鬆症治療を「当科」と「かかりつけ地域医療機関」で連携しながら継続できるように指導するとともに、栄養部や骨粗鬆症マネージャーが栄養指導を行ったり、リハビリ科介入による転倒予防指導を通じて、**総合的に二次骨折（次の骨折）の予防を行います。**

対象疾患	主な手術
大腿骨頸部骨折	骨接合術、人工骨頭置換術、人工股関節全置換術
大腿骨転子部骨折	骨接合術
大腿骨転子下骨折	骨接合術

当院は、専門センターの機能を最大限に活用し、地域医療の質向上に努めていきます。**急性期治療が終了した患者さんについては、かかりつけ医の先生に速やかに紹介し、継続的な診療体制を支援することで、地域全体の医療連携に貢献していきます。**

対象となる患者さんがおられましたら、是非ご紹介ください。
また、専門センターによる診療の高度化と専門性の強化とともに、一般整形についても、引き続き対応しておりますので、ご活用ください。



整形外科診察予約について

【予約方法】

FAX予約：別添「診療情報提供書（診察予約申込票）」

インターネット予約システム（C@RNA Connect）

予約枠名	曜日	時間	予約枠
① 新患外来	月～金	10時～10時30分 11時～11時30分	各日：2枠
② 各専門センター			
脊椎脊髄センター	月～金	10時～10時30分	火：2枠 火以外：1枠
人工関節センター	月、火 水、金	10時～10時30分	各日：1枠
大腿骨近位部骨折センター（一般整形外科も対応）	水、木	10時～10時30分	各日：1枠

※ 「①新患外来」の予約枠は、全ての医療機関でご利用になれます。整形外科標榜医療機関は、「②専門センター」の予約枠もご利用になれます。

整形外科標榜医療機関以外の医療機関からのご紹介は「①新患外来」での診察となりますので、予めご了承ください。

なお、状態によっては、各センターで診させていただく場合があります。

※ 待ち時間は発生しますが、従来どおり、予約なしでの受診も可能です。

お問い合わせ：中部ろうさい病院 地域医療連携室

受付時間：平日 8：15～19：30

電話番号：052－652－5950（直通）

FAX：052－652－5716（24時間）

インターネット予約も可能です。お気軽にお問い合わせください。

診療情報提供書(診察予約申込票)

中部ろうさい病院 地域医療連携室 行
FAX: 052-652-5716

申込日 令和 年 月 日

太枠内を必ずご記入ください

患者ID: — —

フリガナ ()
患者氏名 様

中部ろうさい病院の受診歴 ☐ 有 ・ ☐ 無
(ID: — —)

☐ T ☐ S 年 月 日
生年月日 ☐ H ☐ R
()才 (男 ・ 女)

所在地
医療機関名
医師氏名

電話番号 () —

TEL・FAX

携帯電話 () —

診察希望の科に ☒ をおつけください。(診療の曜日に制限がある診療科もございます。)

- | | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 総合内科 | <input type="checkbox"/> 脳神経内科 | <input type="checkbox"/> 消化器内科 | <input type="checkbox"/> 循環器内科 |
| <input type="checkbox"/> 糖尿病センター | <input type="checkbox"/> 呼吸器内科 | <input type="checkbox"/> 腎臓内科 | <input type="checkbox"/> リウマチ・膠原病内科 |
| <input type="checkbox"/> 精神科(10:30~11:00) | <input type="checkbox"/> 外科 | <input type="checkbox"/> 形成外科 | <input type="checkbox"/> 脳神経外科 |

整形外科 ☐ 新患外来 (全ての医療機関様にご利用いただけます)

※ 整形外科を標榜する医療機関様専用

☐ 脊椎脊髄センター ☐ 人工関節センター ☐ 大腿骨近位部骨折センター

☐ 呼吸器外科 ☐ 泌尿器科 ☐ 産婦人科※分娩予約不可 ☐ 眼科

☐ 耳鼻咽喉科※初診不可 ☐ 麻酔科 ☐ リハビリテーション科

☐ 放射線科(リニアックは主科の同時受診が必要になります)

☐ 歯科口腔外科

☐ その他の診療科【 】※個別のご相談となります。

希望日時
① 令和 年 月 日 () : 頃
② 令和 年 月 日 () : 頃
③ 令和 年 月 日 () : 頃

診断名

既往歴・症状・治療経過・投薬内容など (☐ 詳細は別紙参照。 ☐ 鎮静下内視鏡検査希望(消化器内科))

【お問い合わせ】 中部ろうさい病院 メディカルサポートセンター 地域医療連携室
平日: 8:15~19:30 ☎ 052-652-5950